



## 市内定住住宅取得補助

平成17年から156世帯430人が利用し、定住しています。

【対象者】以下のすべてを満たす方

- ① H 20. 4. 1～H 23. 3. 31の間に市外から薩摩川内市へ転入した方
  - ② H 20. 4. 1～H 23. 3. 31の間に自らの定住のために市内に住宅を新築または購入した方
  - ③ 新築または購入した住宅の価格が400万円以上の方
  - ④ 新築または購入した住宅に5年以上定住する方
  - ⑤ 市税などの滞納のない方
  - ⑥ 転入日から1年以内に①～⑤の条件を満たし、かつ、申請できる方
- 住宅取得補助とリフォーム補助との二重申請はできません。

## 過疎地域定住住宅リフォーム補助

【対象者】以下のすべてを満たす方

- ① H 20. 4. 1～H 23. 3. 31の間に市外から薩摩川内市へ転入した方
  - ② H 20. 4. 1～H 23. 3. 31の間に自らの定住のために過疎地域にある住宅をリフォームした方
  - ③ アパートなどは対象外です。
  - ④ リフォーム工事代金が30万円以上の方
  - ⑤ 別途、条件があります。
  - ⑥ リフォームをした住宅に5年以上定住する方
  - ⑦ 市税などの滞納のない方
  - ⑧ 転入日から1年以内に①～⑥の条件を満たし、かつ、申請できる方
- リフォーム前の写真を撮ってください。

## 新幹線通勤定期購入補助

【対象者】以下のすべてを満たす方

- ① H 20. 4. 1～H 23. 3. 31の間に市外から薩摩川内市へ転入した方
- ② H 20. 4. 1～H 23. 3. 31の間に発行された新幹線通勤定期を購入し通勤している方
- ③ 川内駅を利用区間を含む定期券が対象です。
- ④ 新幹線通勤定期券購入額から、勤務先より支給された通勤手当額を差し引いた金額が、1カ月当たり1万円以上となる方
- ⑤ 市税などの滞納のない方
- ⑥ 上記①～⑤の条件を満たし、通勤定期の通用期間の初日から4カ月以内に申請できる方

上記3つの補助の内容について、詳しくは、4ページのよかまち・きやんせ倶楽部までお問い合わせください。

# 薩摩川内市に暮らす

SATSUMASENDAI CITY  
それぞれの生き方

「Jターンとは、地方で生まれ育った人が、一度都会で居住した後に、また故郷とは違った別の地方に居住することです。文男さんは阿久根市出身です。文男さん「高校卒業後、大阪に就職しました。定年後も働いており、まだ働きたかったのですが、私の父親が94歳で寝たきりのため、家で面倒を見よう」と退職し、妻の出身である西方町に転入しました。妻の同級生が見つけてくれた空き家を改修し住んでいます。釣りも趣味ですが、すぐそばが海で、自然も多く最高の環境です。福岡にいる孫たちも喜んでくれています。先日は友人たちに会いに、住んでいた兵庫県に行ったのですが、西方町に帰りたく



下園文男さん(64歳)・和子さん(60歳)ご夫婦は兵庫伊丹市から西方町にJターンで転入

「Jターンとは、地方で生まれ育った人が、一度都会で居住した後に、また故郷とは違った別の地方に居住することです。文男さんは阿久根市出身です。文男さん「高校卒業後、大阪に就職しました。定年後も働いており、まだ働きたかったのですが、私の父親が94歳で寝たきりのため、家で面倒を見よう」と退職し、妻の出身である西方町に転入しました。妻の同級生が見つけてくれた空き家を改修し住んでいます。釣りも趣味ですが、すぐそばが海で、自然も多く最高の環境です。福岡にいる孫たちも喜んでくれています。先日は友人たちに会いに、住んでいた兵庫県に行ったのですが、西方町に帰りたく

「Jターンとは、地方で生まれ育った人が、一度都会で居住した後に、また故郷とは違った別の地方に居住することです。文男さんは阿久根市出身です。文男さん「高校卒業後、大阪に就職しました。定年後も働いており、まだ働きたかったのですが、私の父親が94歳で寝たきりのため、家で面倒を見よう」と退職し、妻の出身である西方町に転入しました。妻の同級生が見つけてくれた空き家を改修し住んでいます。釣りも趣味ですが、すぐそばが海で、自然も多く最高の環境です。福岡にいる孫たちも喜んでくれています。先日は友人たちに会いに、住んでいた兵庫県に行ったのですが、西方町に帰りたく

てしようがなかったです」  
和子さん「私から帰ってもいいよと言いました。帰るのなら元気なうちにと思っていたからです。同級生に相談すると空き家を見つけてくれるなど助かりました。現在は、磯に行き貝採りや野菜作り、踊りを習うなど楽しく過ごしています」  
最後に、住んでみての感想を教えてください。  
和子さん「私は自動車の免許を持っていないため非常に不便に感じます。くるくるバスが運行されて便利になりましたが、まだまだだと思います。伊丹市では駅前に住み、周りに何でもあったので非常に便利でした。体が弱くなったとき田舎にいたらと思うと不安で、都会の生活に戻ってみたいと思う気持ちもあります」  
文男さん「地域のいろいろな年代の方のお付き合いがあり、びっくりしています。私は、田舎が好きでしたが、周りの家などが取り壊されたりして年々少なくなるのが寂しいですね。とてもいい所だと思うのですが…」  
介護や趣味、畑仕事など忙しい毎日  
を過ごしているお二人。それぞれの考え方を聞いて考えさせられました。今回取材した3件の方々は、移住を前向きにとらえ、明るく、笑顔がとてもすてきでした。そしてそこには、この方々を支える多くの人の姿がありました。また、移住とはいろいろな思いを乗せてくるものだなと感じました。

【これまでに行われた事業】  
① 海幸豊かな・魅力ある体験事業  
② 田田太古の響く峰山事業(峰山地区)  
③ 竹林・甲青・早掘り「竹」体験と田舎暮らし体験  
(NPOエコ・グリーン・ヘルパー)  
鹿島では、漁師の見習いとして1人が事業後にそのまま定住されたり、本

【目的】  
本市への定住に興味がある方に、農業や漁業体験などを通して市民との交流を図りながら、本市の「よかこい」を実感してもらい、定住を促すことを目的としています。  
【内容】  
地区コミュニティ協議会やNPOなどから、地域の特性を生かした体験メニューの提案応募を受け、予算の範囲内で体験メニューを選定し、提案した団体で事業を実施します。主に県外圏からの参加者促進を図ります。  
\*現在も募集中です。詳しくは、4ページのよかまち・きやんせ倶楽部へお問い合わせください。

【募集しています】  
本市への定住人口の増加を図るため、次の事業を実施できる団体を募集しています。皆さんの地域などで実施している、特色ある活動に定住を結び付けて考えてみませんか。  
余暇交流体験モデル事業  
【事業概要】  
よかまち・きやんせ倶楽部会員に登録した市外に居住している方に対し、定住への呼び掛けなどを行った結果、それが定住に結びついた場合、おかえり支援団体および連絡員に対し、謝礼を支払う事業です。

## 暑中お見舞い申し上げます

毎日暑いですね。いかがお過ごしでしょうか。私は薩摩川内市に移住して、初めての夏を過ごしています。絵に描いたような青い空、白い雲、透き通る海、濃い緑の森など、自然がいっぱいでとてもすてきなところです。写真は癒やしのスポット、蘭牟田池だよ。それから野菜や果物、肉や魚などとても新鮮でおいしいです。そういえば、そんなところに住んでみたいとか、いつかいたよね。薩摩川内市には、移住や定住についてのさまざまな問い合わせに対応するために、「薩摩川内市定住支援センター」よかまち・きやんせ倶楽部」を設置して、次のような事業を展開しているみたいだよ。

【情報発信】  
県外の方への情報紙の発送やメールマガジンを発行して、薩摩川内市の情報を発信しているんだよ、あなたも登録してみれば。

【おまかせな事業】  
おかえり支援事業・2泊3日での市の施設を利用すれば宿泊代が無料になる、よかまち体験事業・余暇交流体験モデル事業やそのほか補助事業があるみたいだよ。利用してみればどう?じゃ最後にもう一回、問合せを書いておくれ。それから、あなたの周りに移住したいと思っている人はいるかな?いたら紹介してみて。きつと気に入ると思うから…。

薩摩川内市への定住・移住に関する問合せ先  
薩摩川内市定住支援センター「よかまち・きやんせ倶楽部」  
(薩摩川内市役所 本庁南別館4階 企画政策課内)  
☎0966(2)5111(内線4851)  
☎0966(2)5445  
☎0966(2)5445  
☎(0)20)420200  
✉kiyase@city.satsumasendai.jp  
http://kiyase.city.satsumasendai.jp/index.html

